

製図試験.com 添削シート

時間チェックリスト：毎回経過時間を入れてください。

STEP		目標時間	経過目標	備考
E0	年度条件	0		間口・スパン＋敷地イメージ
E1	I.設計条件	1		具体的なコンセプトのイメージング
E1	4.計画に当たつての留意事項	2		具体的な記述を確認
E1	3.計画の要点	3		図面に反映しそうな点を確認
E2	Ⅱ.要求図書	4		いつもと違う記述があれば確認
E3	1.敷地及び周辺条件	6		建べい率、用途地域、基礎他
	アプローチ(仮)	8		M／Sのアプローチ(仮) 想定
E4	敷地の向き	11		◎×△の想定
	2.建築物	12		階数、目標床面積の設定
E5	積上図（１）	13		24コマもしくは1階最大と総3階建
	3.屋外施設等	16		全外構の大きさ図示
E6	最大建築面積	20		外構が納められる広場含み最大面積
E7	(3)要求室	23		全体俯瞰＋適宜面積計算
	全室リスト	40		高さ・動線・部門含み面積計算
	廊下率	41		1.4～1.6＋補正が必要かどうか
	部門廊下含み面積	43		グロス計算＋ネット計算
	高さ情報	45		読み間違いないか
E8	動線図	50		思い込み・読み間違いないか確認
	積上図（２）	51		積上図(1)よりも解答に近づくこと
E9	ポイントアップ	53		不明・新出・判断迷う点
	プラン方針	55		ポイントアップから方向性方針決定
E10	ゾーニング	65		部門ボリューム・建築物外形・面積概算
E11	コアゾーニング	70		コア位置・建築物外形・スケルトンイメージ
E12	コマプランニング	85		室忘れ・面積間違いないか
E13	問題文・エスキース最終確認	95		問題文とエスキースの最終確認
E14	1/400エスキース	135		A4版1/400で一旦まとめる
Y1	計画の要点	145		キーワード＋網羅＋文章化
D0	重要記載事項・面積表	155		面積表は確定分だけでも描く
D1	基準線・寸法	165		基準線及び寸法を固める
D2	平面図スケルトン	180		スケルトンの完成・上下階チェック
D3	平面図間仕切り下書き	215		エスキースを1/200にトレース
D4	平面図間仕切り仕上げ	260		縦線・横線を一気に描き入れ
D5	断面図	280		平面図との整合性注意
D6	外構文字入れ	320		最小限表現での完成をめざす
D7	アピール	330		注釈等のアピール
CHK	最終チェック	360		最終チェック＋保険として30分

（注）課題によって若干のステップ・目標時間の変更があります。

自己評価リスト：自己評価を A～C で評価枠上部に入れてください。

NO	項目	評価	チェック内容
1	図面印象		読みやすさ、線の意味とメリハリ、描き込み（必要なことが過不足なく）、文字、答案としての丁寧さ、アピール
2	アプローチ		メイン・サブ、その他公園広場等アプローチ、歩車分離、敷地・建物への記号、ルート、表現
3	寸法・面積		寸法（数字の読みやすさ、寸法線、留め） 面積表（計算式、合計、建べい率、容積率）、面積上下限
4	外部空間		広場（面積、形状、配置）、敷地内通路、駐車場（台数、表記）、駐輪場（台数、表記）、外構、設備関連他
5	プラン印象		建築物外形、共用部形状及び豊かさ、平面上下階不一致、動線、ゾーニング、コア、スケルトン、環境配慮他アピール
6	吹抜・大空間		取り方、扱い方、表記
7	要求諸室		要求室面積、要求室形状、動線特記、造作特記、抜け他
8	法規		防火区画（縦穴区画、面積区画）、2方向避難(2階、3階)、採光、道路斜線延焼ライン表現
9	構造		ラーメン構造、柱陸立ち、スパン、カンチレバー、大空間（PC、B梁、柱）、特定天井、その他
10	断面図		表記（構造、基礎、室名、寸法、天井高さ、屋上、設備、パッシブ関連アピール）、平断不一致、切断位置
11	設備・PS関連		空調機械室、DS、空調用PS、受水槽室、PS、キュービクル、EPS 他
12	計画の要点		図面との整合性、日本語、建築計画、構造計画、設備計画、環境負荷低減、防災対策他
13	他・失格		室欠落、面積アウト、図面不一致、他

総合評価 ↑ 自己評価を書き入れてください！ ランクとの関連A,A-＝1,B+,B＝2,B-＝3,C＝4

添削リスト：講師の方で書き込みます。

NO	減点	コード	内容			
1	大-中-小					
2	大-中-小					
3	大-中-小					
4	大-中-小					
5	大-中-小					
6	大-中-小					
7	大-中-小					
8	大-中-小					
9	大-中-小					
10	大-中-小					
11	大-中-小					
12	大-中-小					
13	大-中-小					
14	大-中-小					
15	大-中-小					
16	大-中-小					
17	大-中-小					
18	大-中-小					
19	大-中-小					
20	大-中-小					
21	大-中-小					
22	大-中-小					
23	大-中-小					
24	大-中-小					
25	大-中-小					
添削コード	D	Drawing	図面印象 線・文字・表現	R	Room	要求諸室 室面積・造作
	A	Approch	アプ・歩車・利用者管理サービス	L	Law	建築法規 集団規定・単体規定
	E	Exterior	外部空間 駐車駐輪・広場、外構	S	Structure	建築構造 ラーメン
	C	Calc	面積計算	T	secTion	断面表現
	Z	Zoning	動線・コア位置・ゾーニング	Q	eEquipment	建築設備 電気・空調・給排水
	P	Planning	プラン印象・廊下形状・室形状	N	Note	計画要点
	V	Void	吹抜大空間 位置・機能	X	eXplode	失格系

＜講評＞	課題：op/ 1 / 2 / 3 / 4 / 模試 他	
	ID：31	＜評価＞
	ハンドルネーム	

令和元年(2019年)度製図試験.com 後半戦第1課題「美術館の分館」 ver190801-1

I. 設計条件

この課題は、ある小都市の市街地の公園の一角に建つ美術館（以下本館）西側に、公園の一部を買収してこの美術館の分館を計画するものである。本館は、地元出身の画家の作品の常設展示を行うとともに、企画展示や地域住民の美術活動の発表の場となる展示スペースを設けている。近年、地域住民から工房などのものづくり系へのニーズ及び演劇や音楽といったパフォーマンス芸術へのニーズが高まっており、その需要に即した分館を計画することとなった。

本館には、子どもの美術学習・創作活動や地域住民の趣味の活動(以下「ワークショップ」という。)の場として、屋外創作広場を設けているが、分館敷地にも屋外創作広場2を計画する。加えて景観のよい河川敷沿いにつづ美術館の分館として、景観や河川敷との関係性についても何らかの提案が望まれている。

1. 敷地及び周辺条件

- (1) 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、「敷地図」のとおりである。
- (2) 敷地は、平地で、道路、遊歩道及び公園との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3) 敷地は、近隣商業地域及び準防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。
- (4) 西側公園から6mの範囲は建築物を構築してはならない。
- (5) 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- (6) 地盤は良好であり、杭打ちの必要はなく、また日影及び積雪の配慮はしてよい。

2. 建築物

- (1) 構造、階数等
地上3階地下1階建ての建物とし、構造形式は自由とする。
- (2) 床面積の合計
地階を除く床面積の合計は、2,300m²以上、2,700m²以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段は、床面積に算入しないものとする。なお、ピロティ等を屋内的用途に供するもの(娯楽スペース、設備スペース、駐車場等)については、床面積に算入するものとする。また、エレベーターシャフトは容積率には算入しないものとする。
- (3) 要求室
下表の室は、すべて計画する。

部門	室名	特記事項	床面積
市民創作活動部門	大ホール	・展示やイベントに利用し、無柱空間とする。 ・可動舞台、倉庫を設ける。 ・天井高さは5m以上とする。	約250m ²
	レッスンホール	・練習のためのホールとし、無柱空間とする。 ・天井高さは3.5m以上とし、可動間仕切りで3室に等分できるものとする。	約250m ²
	レッスン室	・壁の一面に鏡を設ける。	約40m ²
	ロワイエ	・大ホールの客だまりとする。 ・屋外創作広場2に面する。	約80m ²
	ロッカールーム	・分館利用者用の更衣室として男女別に設ける。 ・ロッカー、シャワールームを適宜設ける。	計約40m ²
	陶芸工房	・電気釜室(約20m ²)を設ける。 ・流し台を設けるがテーブルレイアウトはしなくてよい。	約80m ²
	木工房	・製材室(約20m ²)を設ける。 ・テーブルレイアウトはしなくてよい。	約80m ²
	ステンド工房	・倉庫を設ける。 ・流し台を設ける。	約40m ²
	機織り工房	・倉庫を設ける。	約60m ²
	ラウンジ	・工房の休憩利用と共に作品展示コーナーを設ける。	約80m ²
レコ・ディングスタジオ	レコ	・防音仕様とし、前室を設ける。	約80m ²
	ディング	・音響調整室を設け、スタジオとの間に防音ガラスを設ける。	
	スタジオ	・10m ² ～60m ² までの大きさの異なる防音仕様の練習スタジオを5室設ける。 ・5室共通の前室を設けて防音ゾーニングし、練習スタジオ内の音が他室に漏れないように配慮する。	
共用部門／他	エントランスホール	・本館側からのアプローチについては、本館ミュージアムショップ位置に分館用の風除室を計画しており、その動線との関係性に配慮する。 ・風除室を設ける。 ・上部を吹抜け(面積適宜)とし、トップライトを設ける。 ・案内カウンターをエントランスホール内に設ける。 ・本館にあったミュージアムショップをエントランスホール内に移設(面積適宜)し、案内カウンターで販売管理を行う。 ・屋外創作広場2からのアクセスに配慮する。	適宜
	事務室	・4人分の事務スペース(5m ² /人以上)及び更衣室(男・女)を設ける。 ・搬入用駐車場出入口を事務室近傍に設けてもよい。その際は駐車場出入口の視認可能な事務カウンターを設ける。	適宜
	空調機械室	・AHU(エアハンドリングユニット)を設ける。 ・地階に設ける。	適宜
	設備スペース	・その他、各自が採用した設備計画に応じて、室外機置場等を計画する。	適宜

・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

3. 屋外施設

- (1) 駐車場は平面駐車とし、利用者の搬入用として7台分(うち車椅子使用者用として1台分)、管理・サービス用として2台分、計9台分を主として敷地西側に設ける。一般利用者は本館東側の美術館駐車場を利用する。
- (2) 駐輪場は、2.0m×0.5m/1台とし30台分を設ける。
- (3) 本館の屋外創作広場との関係性に配慮した屋外創作広場2(面積200m²以上)を設ける。
- (4) 本館と分館の間はセキュリティに問題がない限り、フェンス等は設けないでよい。ただし本館側のフェンスの扱いについては当該図面に明示するものとする。
- (5) 屋上庭園(面積適宜)を2階もしくは3階の床レベル(1階もしくは2階の屋上部分)に設ける。

4.計画に当たっての留意事項

建築計画、構造計画及び設備計画については、次の点に留意して計画する。

- (1) 建築物はバリアフリー、セキュリティ、省エネルギーに配慮し、空調負荷の抑制や自然光の利用と共に日射遮蔽及び通風に配慮した計画とする。
- (2) 各要求室について適切にゾーニングした計画とともに、明快な動線計画とし、かつ避難等にも配慮する。
- (3) 敷地条件(方位等)や周辺環境に配慮すると共に環境負荷低減に配慮する。
- (4) 北側外壁面の道路からのセツトバック位置は本館と合わせるものとする。
- (5) 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画すると共に経済性にも配慮する。
- (6) 構造種別、架構形式、スパン割及び基礎構造について適切に計画すると共に、適切な断面寸法の部材を配置する。
- (7) 給排水衛生設備、電気設備、昇降機設備等を適切に計画する。空調設備は単一ダクト方式とし、空調機械室は地階に設ける。
- (8) 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、所定の防火設備を適切に計画する。また、防火区画(面積区画・窓穴区画)が必要な部分には、所定の防火設備を用いて適切に区画する。なお、本建築物は、自動式のスプリンクラー設備等を設けないものとし、また「避難上の安全の検証」を行わないものとする。
- (9) 避難階又は地上に通ずる2以上の直通階段を適切に計画する。また、必要に応じて、「敷地内の避難上必要な通路」を適切に計画する。

II. 要求図書

答案用紙 I の定められた枠内(寸法線については枠外でもよい。)に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面(答案用紙 I に記入)

下表により、所定の図面を作成し(フリーハンドでもよい)、必要な事項を記入する。なお各図面には、必要に応じて計画上留意した事項について、簡潔な文章や矢印等により補足して明示する。

図面及び縮尺	特 記 事 項
(1)1階平面図 兼 配置図 1/200	① 1階平面図兼配置図、2階平面図及び3階平面図に、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の主要寸法(柱割り及び床面積の計算に必要な程度) ロ.室名等 ハ.設備シャフト〔パイプシャフト(PS)、ダクトスペース(DS)、電気シャフト(EPS)〕の位置 ニ.設備計画に応じた設備スペース(ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。)
(2)2階平面図 1/200	ホ.断面図の切断位置 ヘ.要求室の床面積 ト.エキスパンションジョイント(Exp.)を使う場合はその位置
(3)3階平面図 1/200	② 1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ.建築物の出入口、本館部分のフェンス位置 ロ.駐車場(台数及び出入口を明示する。) ハ.敷地内通路及び避難上有効な寸法の明示 ニ.通路、植栽等 ホ.地階の範囲及び面積、屋外創作広場(面積を明示する。)
	③ 2階平面図及び3階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ.下階の屋根、ひしき等となる部分 ロ.居室の最も遠い位置から2つの直通階段に至る歩行経路、それらの距離、及び重複区間の距離
(3)断面図 1/200	① 切断位置は、エントランスホール吹抜けを含み建築物の全体の立体構成(地階から3階まで)がわかる断面とする。なお、基礎部分を除き、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ② 屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ③ 塔屋を含む建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名等を記入する。 ④ 基礎、梁及びスラブの断面を図示する。

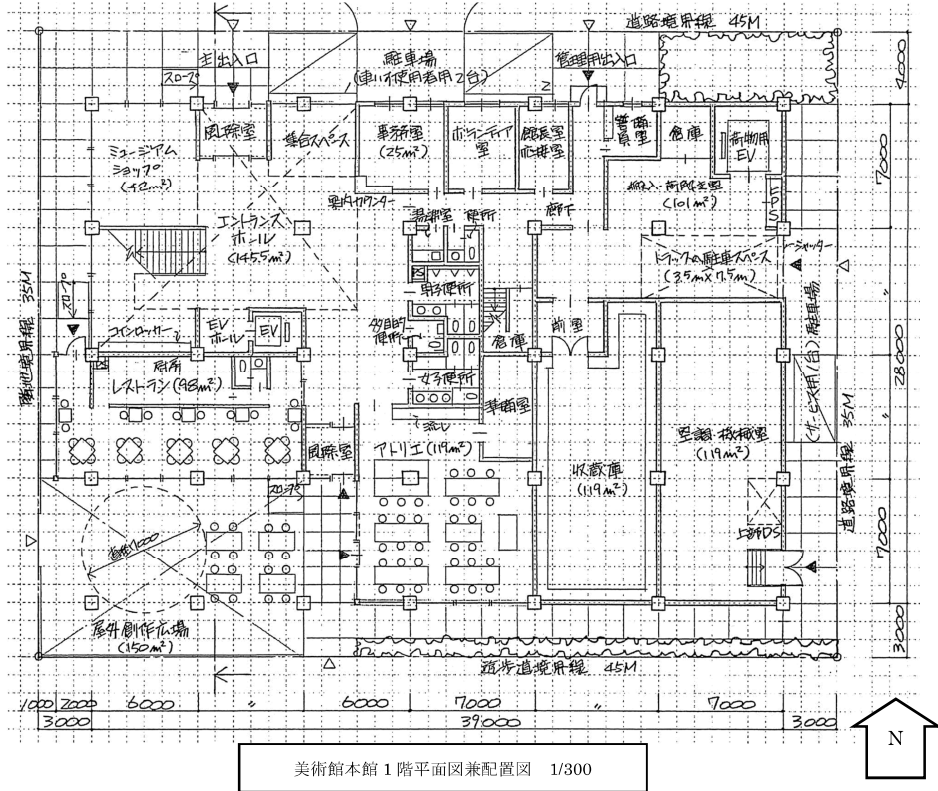
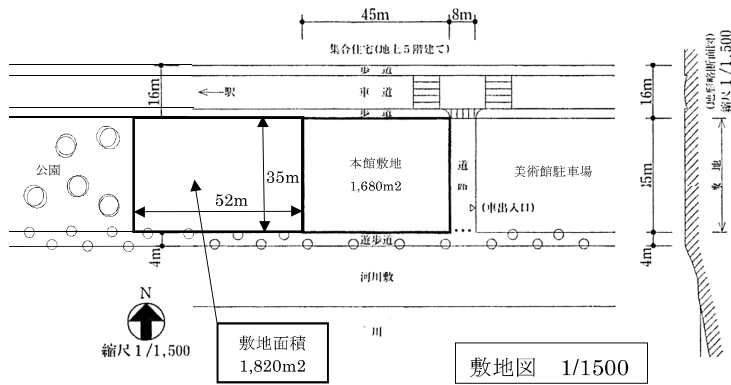
2. 面積表(答案用紙 I に記入)

- (1) 地上 1～3 階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。また建ぺい率及びその計算式についても記入する。

3. 計画の要点等

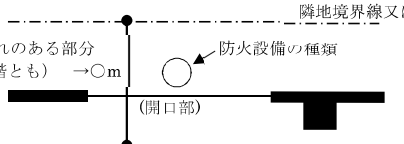
建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

- (1)本館との接続方法とそのアプローチの計画について考慮した点
- (2)景観のよい南側河川敷との関係性について考慮した点
- (3)駐車場計画について考慮した点
- (4)建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
- (5)大ホールの屋根部分に採用した構造について、部材々を説明し、梁伏を図示。
- (6)空調負荷低減のために配慮した点(3点)
- (7)自然光の利用のために配慮した点(3点)



防火設備等の凡例

(特、⑤等の表示は、必要な箇所(外壁の開口部も含む)に全て記入すること)

【建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分の位置(延焼ライン)と防火設備】	【防火区画に用いる防火設備の位置及び種類】 防火区画(面積区画・堅穴区画)に応じて、要求される所定の防火設備の位置及び種別を記入すること				
 延焼のおそれのある部分の距離(各階とも) → ○m 防火設備の種別 (開口部) 隣地境界線又は道路中心線 建築物の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分がある場合においては、隣地境界線又は道路中心線から延焼のおそれのある部分までの距離(m)を記入し、延焼ラインを破線で図示すること また、建築物の外壁の開口部で、延焼のおそれのある部分の開口部に要求される所定の防火設備の種別を記入すること	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="2240 1344 2457 1411">特定防火設備</th><th data-bbox="2457 1344 2641 1411">法 2・9・2 のノロに規定する防火設備</th></tr> <tr> <td data-bbox="2240 1411 2457 1656" style="text-align: center;"> 特 </td><td data-bbox="2457 1411 2641 1656" style="text-align: center;"> 防 </td></tr> </table>	特定防火設備	法 2・9・2 のノロに規定する防火設備	特	防
特定防火設備	法 2・9・2 のノロに規定する防火設備				
特	防				

5. 図面レイアウト(製図試験.com 課題指示:本試験では解答用紙Iに記載)

1 階平面図兼 兼配置図	3 階平面図
2 階平面図	断面図面積表

■**添削について**
コース生・添削希望者は、図面、要点、エスキース・分析表を同封して下記住所までお送り下さい。〆切は8月12日(月)消印有効。添削は約1週間程度でご返却を予定していますが、第1課題のみ2週間程度かかる可能性があります。
〒554-0012 大阪市此花区西九条 2-7-8-3F 製図試験・事務局
送付前に図面は必ずコピーを取ったのち、その原本を4つ折りして角2号封筒を使用してください。速達、書留、宅急便にする必要はありません。

試験場		受験番号	-	HN		製図試験.comID	
-----	--	------	---	----	--	------------	--

建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。
なお、要求図面では表せない部分についても記述する。

(1)本館との接続方法とそのアプローチの計画について考慮した点(本館改修イメージを含む)

(2)景観のよい南側河川敷との関係性について考慮した点

(3) 駐車場計画について考慮した点

(4)建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由

質問欄

(5)大ホールの屋根部分に採用した構造について、部材*を説明し、梁伏を図示。

圖示欄

[illegible]

*部材:柱、大梁、小梁、床板等の寸法を明示すること

(6) 空調負荷低減のために配慮した点(3点)

[illegible]

(7) 自然光の利用のために配慮した点(3点)

[illegible]